

令和6年度

学校評価報告書



綾瀬市立北の台中学校

凡例

	そう思う
	ややそう思う
	あまり思わない
	そう思わない

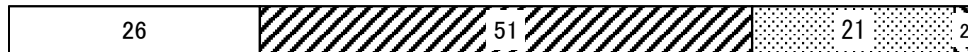
※グラフ中の数字は百分率（％）であらわした数字です。

1 学校は、「真実を求める人」を育てるために、工夫や改善に取り組んでいる。

学校の取組

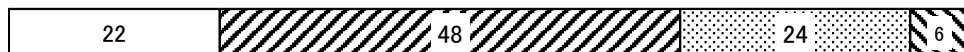
本校では「真実を求める人」の育成を目標として、「自らの考えで行動しようとする人」を指導の重点にし、「主体的に学ぼうとする力（STUDY）」「人とのつながりを楽しむ力（ENJOY）」「創造する力（CREATE）」の3つの資質・能力の向上に取り組んでいます。その具現化のため、家庭学習の充実のための自主学習取組表を使った指導や定期テスト前の家庭学習計画作り、学習会などを実施しています。また、校内研究では「主体的、創造的に生きる生徒の育成」をテーマに、知的好奇心を育む協働学習を通して、学ぶ楽しさ・面白さを実感できる授業づくりを目指して教師の指導力向上に努めています。

生徒 設問 「あなたは、意欲的に授業に取り組むとともに、定期テスト前の学習計画作りや基礎確認テストにも積極的に取り組んでいる。」 実施日：12/24 回答数：258人



保護者 設問 「お子さんは、意欲的に学習に取り組んでいる。」

実施日：12/23 回答数：123人



教職員 設問 「あなたは、わかりやすい授業を目指して、ワークシートや資料、教材等を工夫している。」 実施日：12/24 回答数：18人



今後に向けて

昨年度と同様に7割以上の生徒が意欲的に授業に取り組み、定期テスト前も学習計画作りをはじめ積極的に学習に取り組んでいます。また、7割以上の保護者も、意欲的に学習に取り組んでいると肯定的な回答をしています。今後も生徒の学習意欲を高められるように授業研究を推し進めるとともに、家庭での学習習慣の定着をめざした具体的な支援に取り組み、自ら学び、自ら考える「真実を求める人」の育成に一層努めていきます。

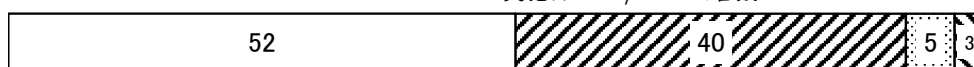
2 生徒は、学校行事や生徒会活動・部活動に積極的に参加している。

学校の取組

本校では、生徒会本部や委員会を中心として、課題を見つけ、解決方法を考え、取り組むといった活動の実践に努めています。具体的には、生徒会本部や中央委員会を中心に、朝のあいさつ運動やペットボトルキャップ集め、いじめ・暴力撲滅運動、各委員会のポスター作りなどの活動を積極的に行っています。また、学校行事では、実行委員会が中心に運営をしています。部活動においても生徒の加入率も高く、熱心に活動に参加し、積極的に取り組む生徒が多く見られます。

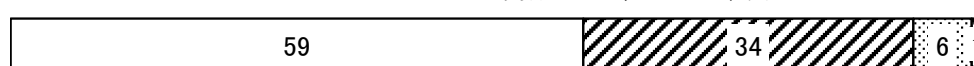
生徒 設問 「あなたは、学校行事や生徒会活動・部活動に積極的に参加している。」

実施日：12/15 回答数：258人



保護者 設問 「お子さんは、学校行事や生徒会活動・部活動に積極的に参加している。」

実施日：12/23 回答数：123人



今後に向けて

生徒・保護者ともに9割以上が、この設問に肯定的に回答しています。なかでも「そう思う」と回答した生徒・保護者ともに、増えています。様々な活動において、主体的に活動することで、達成感や充実感を味わうとともに、協力する大切さを学ぶ生徒が多くいます。今後も部活動の活性化、生徒会本部を中心とした実行委員会、専門委員会の活動の充実を目指し、主体的に行動できる生徒の育成に努めていきます。

3 学校は、「思いやりの心を持つ人」を育てる指導を積極的に行っている。

学校の取組

思いやりの心を持つ生徒を育てるために、相手の立場を理解する心の育成に努めています。「特別の教科 道徳」の時間では、互いの個性を尊重し、仲間を大切にする態度の育成を目指した授業を実践しています。さまざまな物事の見方・考え方を理解するために、個人の意見をグループで交換したり、全体で共有したりする時間を設けています。また、担任以外の教員が授業を行うローテーション道徳を実施し、多様な価値観を学ぶ機会を増やしています。

生徒 設問 「あなたは、友人に対して思いやりの気持ちを持って接するように意識している。」

実施日：12/24 回答数：258人



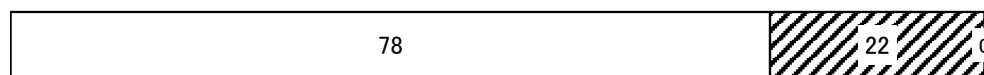
保護者 設問 「お子さんは、友人に対して思いやりの気持ちを持って接している。」

実施日：12/23 回答数：123人



教職員 設問 「あなたは、道徳の授業・挨拶指導等を通して、生徒の良好な人間関係作りに努めている。」

実施日：12/24 回答数：18人



今後に向けて

「友人に対して思いやりの気持ちを持って接するように意識している」と肯定的に答えた生徒は88%と増えてきていますが、昨年度と比較すると「そう思う」と「ややそう思う」の割合が入れ替わり、「そう思う」と答えた生徒が減少しています。教職員で「生徒の良好な人間関係作りに努めている」という設問に対して「そう思う」と答えた人数は20%ほど増加しました。引き続き、「特別の教科 道徳」や学級活動の時間、日々の学校生活全体を通して、互いの個性を認め合い、仲間を思いやる生徒の育成を目指し、適切な指導・支援をしていきます。

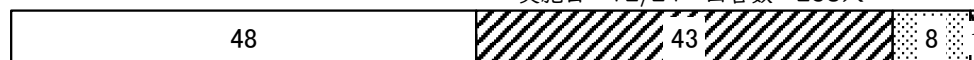
4 生徒は友人や先生との学校生活に満足している。

学校の取組

本校では、学級活動や行事の時間などを活用して、生徒同士のコミュニケーションを基盤とした良好な人間関係の構築を目指しています。学級活動では発達段階に応じ、3年間を見通したソーシャルスキルトレーニングを計画的に実施しています。日ごろからの「声かけ」や教育相談、毎月のスクールアンケートを実施し、生徒との信頼関係を築くとともに、生徒の困り感やいじめの早期発見に努めています。

生徒 設問 「あなたは、毎日学校生活を楽しく過ごしている。」

実施日：12/24 回答数：258人



今後に向けて

9割近い生徒が学校生活を楽しく過ごしていると回答しています。「そう思う」と回答した生徒も昨年度より増えています。今後も普段の学校生活を通して、社会の一員としての公平、奉仕、公共心などのモラルを定着させるとともに、豊かな人間関係づくりに努めていきます。一方、学校生活を楽しく過ごせていない生徒がいることにも向き合い、日頃の生徒観察を行い、生徒の状態を適確に把握し、適宜、教育相談を行っています。また、学級活動等でソーシャルスキルトレーニングを計画的に実施し、生徒の人間関係作りをサポートしていきます。

5 学校は、いじめの早期発見・再発防止のための取組を行っている。

学校の取組

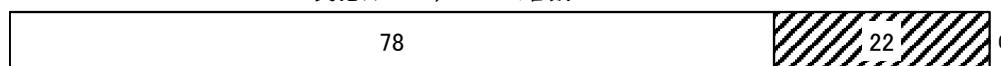
本校では、生徒指導委員会で毎週情報交換会議を行い、その内容を全職員で共有し、一人ひとりの生徒に応じた支援にあたっています。また、いじめの早期発見・再発防止のため、教育相談や毎月スクールアンケート等を行っています。いじめが発見された場合は適応支援グループを中心に対策を検討し、SC、SSWや保護者と連携して解決、再発防止に取り組んでいます。さらにSNSによるいじめ問題の予防的指導も各学期に一回行っています。今年度も、生徒達がどうしたらいじめを防止できるかを考える「いじめ防止宣言」をクラスと部活動で行いました。

保護者 設問 「本校は、いじめの早期発見・再発防止のための取組を行っている。」



教職員 設問 「あなたは、いじめの早期発見・再発防止に努めている。」

実施日：12/24 回答数：18人



今後に向けて

8割の保護者が肯定的な回答をしています。しかし、全ての教職員が肯定的に捉えていることに比べ、保護者と教職員の間に差がみられる現状があり、引き続き、授業、道徳、学校行事など全ての教育活動を通して、生徒が互いを認めあうことができる学校・学級づくりを目指した指導に努めていきます。さらに、学校だより等で、教育相談やスクールアンケートを実施している情報を発信します。また、今後もSNSトラブル防止教育を毎学期、学級活動の時間に必ず行うことや、日常の生徒への声掛けや面談を行い、生徒との信頼関係を築き、保護者との連携をより深めて、いじめ防止教育に努めていきます。

6 学校は、「心身を鍛える人」を育てる指導に積極的に取り組んでいる。

学校の取組

日々の健康観察、身体測定・健康診断等を通して、生徒の健康管理に努めています。学級活動の時間では1年タバコの害、2年アルコールの害、3年薬物の害に関する保健指導を行い、生徒が自分の健康について考える機会を設けています。今年度は3年生対象に大和警察署から講師を招き、薬物乱用防止講演会を実施しました。また、1、2年生対象の食育講演会を実施し、適切な間食の取り方やエナジードリンクが体に与える影響について学ぶ機会を設けました。体力づくりの一環として、2年生対象にニューススポーツ大会を行い、運動の楽しさを学びました。

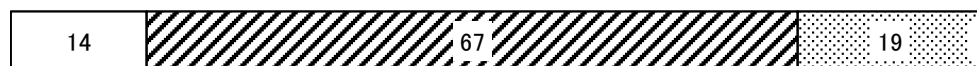
生徒 設問 「あなたは、自分の健康や体力に関心を持って生活している。」

実施日：12/24 回答数：258人



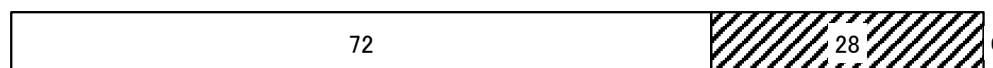
保護者 設問 「お子さんは、自分の健康や体力に関心を持って生活している。」

実施日：12/23 回答数：123人



教職員 設問 「あなたは、生徒の健康観察や保健指導に取り組んでいる。」

実施日：12/24 回答数：18人



今後に向けて

7割以上の生徒・保護者は自分の健康や体力に関心を持っています。今後も保健・食育指導等を充実させ、生徒の健康や体力への関心を高めていきます。学級担任、部活動顧問、養護教諭、栄養教諭、SC、SSW、保護者と連携し、心身ともに健全な生徒の育成に努めていきます。

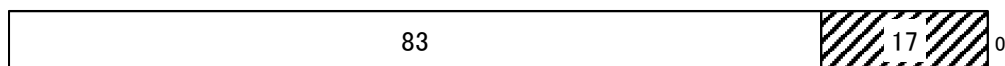
7 学校は、生徒の安全のための指導や施設の点検・整備に取り組んでいる。

学校の取組

全学年、1学期4月に学級活動の時間を使って地震、津波、大雨・雷などの自然災害についての学習をして防災意識を高めています。3年生は毎年防災教育講演会を開催しています。また毎学期、安全点検を実施し、不良箇所の発見・改善等を速やかに行うよう心掛けています。今年度は行方不明者が出る想定で避難訓練を行い、人員確認から不明者救助までの対応を確認しました。夏季休業中には大和警察署と連携して不審者対応訓練も行いました。

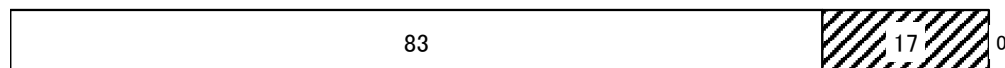
教職員 設問 「あなたは、生徒が安全な生活を送るための指導を行っている。」

実施日：12/24 回答数：18人



教職員 設問 「あなたは、教室整備や校舎内外の点検・整備に努めている。」

実施日：12/24 回答数：18人



今後に向けて

ほぼ全ての教職員が、生徒が安全な生活を送るための指導と施設点検・整備を行っています。今後も校舎内外の点検・整備に努め、生徒の安全を確保していきます。今後は南海トラフ巨大地震を視野に入れ、災害発生時の生徒の安全を守るために、防災教育をさらに充実できるよう取り組んでいきます。

8 学校は生徒に応じた支援の工夫をしている。

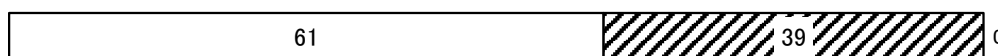
学校の取組

本校では、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行うために、学習支援者による個別指導や教職員による教室内支援、取り出し支援など、教育相談コーディネーターが中心となり支援体制を整えています。また、担任、学年職員、養護教諭、部活動顧問、SCやSSW等が日常的に相談活動も行っています。個人の状況に合わせて適応支援グループ、生徒指導委員会や学年で、支援の方針を毎週1時間協議、検討する時間をとっています。

今年度は支援室の利用環境を整え、さらに個に応じた支援を行いました。

教職員 設問 「あなたは、生徒に応じた支援の工夫をしている。」

実施日：12/24 回答数：18人



今後に向けて

全ての教職員が生徒に応じた支援の工夫をしていると回答しています。今後も、様々な課題を持つ生徒に対して、教職員、学習支援者、SC、SSWが支援を行い、必要に応じて外部機関と連携し、必要な支援を検討し手だてを考えていきます。毎週行われている情報交換会で、課題のある生徒の現状と、必要な支援を検討し、全職員で情報共有して、一丸となって同じ方針で生徒をより支援していきます。

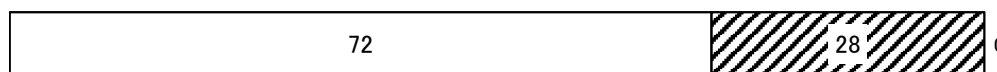
9 校長を中心とした運営組織になっている。

学校の取組

本校では、校長、教頭のリーダーシップのもと、総括教諭を中心とした5つのグループに教員が所属し、各グループの所掌事項が円滑に遂行できるように努めています。また、定期的にグループ会議、企画会議、職員会議、学年会議を行い、毎年、毎学期の反省をもとに、教育目標、グランドデザイン・重点目標・育てたい資質・能力の具現化やその見直し・改善に努めています。

教職員 設問 「各グループが連携し、円滑に職務が遂行されている。」

実施日：12/24 回答数：18人



今後に向けて

9割以上の教員が、各グループが連携し、円滑に職務が遂行されていると回答しています。今後も教育目標の具現化を目指し、グループ会議、企画会議、職員会議、学年会議を行いながら情報の共有化を図り、組織的かつ効率的な学校運営に努めていきます。今後もグループ間の連携や情報共有も積極的に行い、全教員で教育活動を行っていきます。さらに、グランドデザイン・重点目標の達成、育てたい資質・能力の育成を目指して、各グループで取組を検討していきます。

10 学校は、教職員の力量を高めるための取組に力を入れている。

学校の取組

本校では、教科以外の教育的な課題の研修会を校内で開催したり、校外の研修会への参加や研修内容の共有化を図ったりすることで、教員としての力量を高めることに努めています。また、「主体的、創造的に生きる生徒の育成～知的好奇心を育む協働学習を通して、学ぶ楽しさ・面白さを実感できる授業づくり～」をテーマに校内研究に取り組み、全教員が授業を公開して互いに授業を評価し合うなど、授業力の向上に努めています。

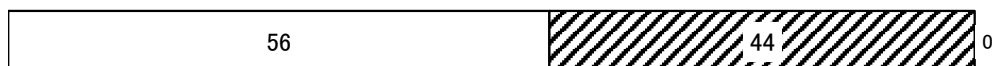
教職員 設問 「あなたは、教師の力量を高めるための校内研修に積極的に取り組んでいる。」

実施日：12/24 回答数：18人



教職員 設問 「あなたは、授業力向上・授業改善に向けた校内研究に積極的に取り組んでいる。」

実施日：12/24 回答数：18人



今後に向けて

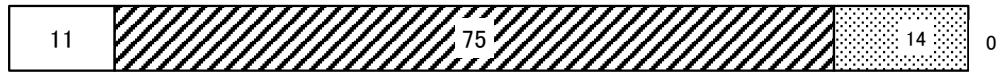
多くの教員が教師の力量を高める校内研修や授業力向上・授業改善を目指して校内研究に積極的に取り組んでいます。来年度も、教員が学習指導要領に明記された「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざし、生徒一人ひとりの「知的好奇心」を育み、より学ぶ楽しさ面白さを実感し、深い学びへつなげる授業を展開していけるように校内研究を充実させていきます。また、校外の研修にも積極的に参加し、その成果を全教員で共有し力量を高めていきます。

1 1 学校は、生徒の実態を把握し、よりよい生徒の成長のための工夫をしている。

学校の取組

本校では、学習活動や学校行事、部活動等、様々な教育活動を通して生徒の実態把握に努めています。また、毎月のスクールアンケートや、教育相談、教育相談へ向けたスクーリング等を行い、生徒の実態把握に努めています。また、把握した生徒の実態については、学年職員での情報共有はもちろん、職員全体での情報共有を行うことで、生徒のよりよい成長のための指導・支援の工夫につなげています。

保護者 設問 「学校は、生徒の実態を把握し、より良い成長を目指した指導を行っている。」
実施日：12/23 回答数：123人



教職員 設問 「あなたは、様々な教育活動を通して生徒の実態を把握し、より良い成長を目指した指導に努めている。」 実施日：12/24 回答数：18人



今後に向けて

肯定的な回答は保護者が86%、教職員が100%となっています。また、「そう思う」という回答のみを比較すると保護者が11%、教職員が67%となっています。この結果から、保護者と教職員の評価に差があることがわかります。教職員の回答の背景には、日常的な教職員の見取りに加え、スクールアンケート等々により、生徒の実態把握に努めてきたことがあります。反面、保護者の回答からは、学校内での取り組み自体を伝えることができていない可能性や、取り組みの成果を実感して頂くに至っていない可能性があります。引き続き生徒の実態を把握し、より良い成長を目指した指導を行っていきます。

1 2 学校は、保護者などに適切な情報を提供し、連携を図る取組を行っている。

学校の取組

本校では、保護者に教育方針や教育活動についての理解を図るために、家庭訪問・面談・授業参観・懇談会・学年だより・学校だより・ホームページ・学校運営協議会等、様々な機会を利用して学校の情報を伝える努力をしています。

保護者 設問 「家庭訪問や面談、学年だより等を通して、学校の情報が保護者などにわかりやすく伝えられている。」
実施日：12/23 回答数：123人



教職員 設問 「本校は、家庭訪問や面談、学年だより等を通して、学校の情報を保護者などにわかりやすく伝え、連携を図っている。」
実施日：12/24 回答数：18人



今後に向けて

保護者、教職員ともに9割以上が肯定的に回答しています。学校だよりや学年だよりを学校情報配信システム(C4th)でも配信することで、学校の情報を伝えることができました。また、学校だよりについては、地域回覧やホームページへの一部掲載により、学校外の方へも情報を発信することができました。今後も学校生活や授業中の様子等を積極的に発信していくとともに、分かりやすく伝える工夫に努めていきます。